



2006年1月29日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
お問合せは上記へ

17年度 地域福祉を考える集い 人と人とのつながりを

映像で振り返る北茨城 ～そしてこれから～

1月21日、市民ふれあいセンターにおいて、平成17年度地域福祉講演会が開かれました。今回は「映像で振り返る北茨城～そしてこれから～」というテーマが掲げられました。

まず第一部は、戦後から現在まで60年間のさまざまな映像を振り返りながら、人と人とのつながりに焦点をあてるという企画。高齢

の参加者が多く、なつかしい映像に思いもひとしおで



講師の長谷川幸介先生。



パネラーの根本さん、鈴木さん、中原さん。

した。

第二部は、茨城大学の長谷川幸介先生による講演。

「第一部の映像でも見たように、戦後、たしかに人々はまじまじと見られた。しかし、それゆえに人のつながりが

存在した。生きるためには、人と人が支え合うことが必要だった。

ところが今、みんなが豊かになった。そのなかで、生産面でのつながりが消えていった。しかし、人は支えあわなければ生きていけない存在。あらためて、暮らし面でのつながりをつくるべき。高齢者の役割もとても大きい」

ユーモアいっぱい、そして胸を熱くするエピソードもまじえてのお話に、参加者の皆さんも共感の拍手を送っていました。

命に国境はない

高遠菜穂子さんの講演から

「九条の会・かさま」
設立総会において

1月22日、笠間市で「九条の会・かさま」の設立総会が開かれ、その第2部として「命に国境はない」と題して高遠菜穂子さんの講演がありました。会場を埋

めた約500名の中には若い人の姿もたくさん見ることができました。

高遠さんは、人質事件の後、イラクのニュースを伝え聞くことに体調が悪くなっていた。その姿を見て、お母さんが、あなたはイラクとの関わりを絶つべきではないと背中を押してくれたそうです。

そうした困難を乗り越えつつ、これまで全国で約200回もの講演を重ね、アメリカまで行って帰還米兵の話聞き、築いてきた人のつながりを活かしてイラク支援の活動を展開してきています。

高遠さんが強調していたのが、米軍による報道機関・情報伝達への攻撃です。そして作られた「報道の見えない壁」の向こう側で重ねられている非道。いっぽうで民衆と世界が發揮している人間の強さと温かさ。衝撃的な映像も示しながらの報告でした。

会場をシーンとさせ、また熱くさせた高遠さん。講演の冒頭では、写真を撮るフラッシュの光に固まってしまう場面もありました。日本の政治家やマスコミの恥知らずなバッシングによる傷の深さも垣間見たよう気がしました。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」は
インターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。